

令和2年12月11日
一般財団法人 日本みち研究所

令和2年度第1回道路空間高度化研究会を開催しました

令和2年11月11日、令和2年度第1回道路空間高度化研究会を、オンラインでの参加・傍聴併用にて開催しました。

今回は、FUJII Intercultural 社代表 ヴァンソン藤井由実氏をお招きして、『With コロナ時代のモビリティと都市空間の再編成・ミラノ市の事例』について、話題提供をしていただきました。

話題提供では、ロックダウン中のミラノ市民の生活や公共交通機関の状況のほか、ロックダウンからの出口戦略としてミラノ市が取り組んでいる戦略的都市計画（タクティカルアーバニズム）や道路空間の再配分、オープンスペースの確保について具体例を用いながらご説明いただきました。さらに、これからの都市像として、グローバリズムからローカリズムへの動きや、歩いて15分以内で暮らせるような徒歩移動を中心とした生活環境を形成する「15分都市構想」など、新型コロナウイルスをきっかけに高まっているニーズについてもご紹介いただきました。

話題提供の後には、藤井氏と本研究会委員がイタリアでの都市政策の進め方や合意形成のあり方など、さらに具体的な内容について活発なご議論を展開していただきました。



【御出席の委員】 委員長 石田東生 筑波大学名誉教授・日本みち研究所理事長
委員 天野光一 日本大学理工学部教授
委員 岸井隆幸 計量計画研究所代表理事、日本大学特任教授
委員 谷口 守 筑波大学システム情報系社会工学域 教授

【会 場】 株式会社日本工営本社ビル会議室

【問い合わせ先】

一般財団法人 日本みち研究所 調査部 見明 栗山

TEL : 03-5621-3115 FAX : 03-5621-3153

HP : <http://www.rirs.or.jp/>